

# 発想の転換 ～見方・やり方・考え方カエル～

株式会社クロデザインスタジオ代表 黒田クロ 氏

火曜午餐会7月第2例会を18日、当部5階大会議室にて開催。(株)クロデザインスタジオ代表の黒田クロ氏を講師にお招きし、人生をどう生きるか、自分の立場を変えるとどんな見え方や感じ方ができるか、人生に役立つアドバイスをユーモアたっぷりに紹介して頂いた。

黒田氏は1947年徳島県生まれ。県立徳島東工業高校（現在は徳島科学技術高校）卒業後、デザイナーを志すが、漫画に興味を持ち、漫画屋黒田クロでデビュー。PHP 研究所のハウツー本の漫画・イラスト作成や松下幸之助商学院の販促講師を1978年から44年続けた。漫画と書を組み合わせた「漫遊書家」を名乗っている。講演の依頼が多く、活動は年間約200回。その発想はユニークで、独自の視点から練りだした人生論は各界で好評を博している。

## 【ピンチをチャンスにするには】

コロナは本当に大変だった。みなさん、「大変」という字を書いてみてください。「大変」を訓読みすると大きく変わる。ピンチは大きく変わるチャンスと考える。たとえば野球では、攻撃している方はチャンス。守っている方がピンチ。守り方が悪いからピンチになっている。「大変」はピンチの守りにはまっている。今までのやり方は間違っていたと気づいたら、チェンジするチャンス。ピンチはチェンジするチャンス。チェンジしたらチャレンジするチャンス。この世はすべて変化している。済んだことと他人は変えられないがこれからと自分は変えられる。未来は誰にも分らない。変化は進化のチャンス。

## 【心はどこにあるか】

心は目に見えない。しかし、心づかいは見える。気は見えないが、気づかいは見える。「心」という漢字を書いてみてください。それぞれにつながりが無いバラバラ。心はコロコロ変わるからコロコロ。その時の気分で変わる。心に筋をとおして志をたてるのが大事。人生で成功する方法はこつこつ生きること。「こつこつは骨骨」骨を支えているのは筋肉。筋という字は「すじ」を表す。物事の筋を通すことはとても大事なことです。

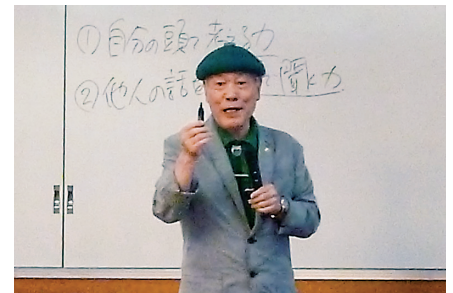
## 【自立とは】

自立とはと問うと、皆さんそれぞれにチョットだけ違うことに気づいてほしい。私の考える自立は、**【一つ目】**、まず自分の頭で考える力をつけること。これをしたらどうなるのか、しなかったらどうなるのか考えて行動しよう。**【二つ目】**、他人の話を最後まで聞く力。相手が何を伝えたいのか、きちんと考える力。**【三つ目】**、人生の問題を解決する力を身に着けること。自分の問題か、社会や政治の他者の問題かを考える力が解っていない人がたくさんいる。

## 【経営者の心得】

挨拶は大事。挨拶の仕方、声の出し方で人間が判る。危険な仕事や責任ある仕事をちゃんと任せられるのか、経営者は従業員の挨拶の声や様子の違いに気付いてほしい。

「経営」という字を見てください。「経」はまっすぐの縦の線。まっすぐな営みが「経営」。営みに「業」が「営業」。積み重なると「業績」。また経営に心が宿ると「神経」。ありたい姿、夢、志をもつことは「精神」。人生・会社の経営とは、「**精 神 経 営 業 績**」。



## 【自分とは】

「自分」という字は自ら分けると書く。では自分とは何か？こうありたい姿が自分。自分は興味で動く。物事を好きか嫌いかで選ぶ。自分はいつできたのだろうか。子どものころからの生活習慣の中で、無意識に芽生えた潜在意識（無意識）がそうさせている。自分自身を知ることがとても大事。夢は実現すると信じて夢を自分の頭で描く人と夢を紙に書いて「見える化」した人が成功している。

自分の立場を変えると、見え方、感じ方が変わるからやり方が変わる。人は立場があって動いている。「考え方」という言葉を「考え」と「方」に分けてみる。「方」は見る方向のことである。考えは自分の意識で決めているので変わらないが、立場を変えると、気を持ち方は変えることができる。難儀な中でも、自分が生かされていることに感謝して、人生はいつでも変えられることに気付いてほしい。